

16. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告致します。

●2020 年度の第 13 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は、テーマを「微分幾何と可積分系 (Differential Geometry and Integrable Systems)」, 組織委員長を大仁田義裕氏 (大阪市立大学) として, 2022 年 3 月に大阪市立大学において開催されました。(新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が延期になりました。) 詳しくは, 次の項目「第 13 回 MSJ-SI (2020 年度) 開催報告書」をご覧ください。また, 以下のサイトもご覧ください。
http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/~ohnita/2020/MSJ-SI2020_e.html

●2021 年度の第 14 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「New Aspects of Teichmüller Theory」, 組織委員長を大鹿健一氏 (学習院大学) として, 2022 年 7 月に東京大学において開催される予定です。

(新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が延期になりました。) 詳しくは, 以下のサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/msj-si-teichmuller/home>

●2022 年度の第 15 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「応用特異点論の深化と展開 (Deepening and Evolution of Applied Singularity Theory)」, 組織委員長を西村尚史氏 (横浜国立大学) として, 2022 年 11 月に開催される予定です。詳しくは, 以下のサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/MSJ-SI2022/>

●2023 年度の第 16 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「楕円可積分系, 表現論, 超幾何関数 (Elliptic Integrable Systems, Representation Theory and Hypergeometric Functions)」, 組織委員長を今野均氏 (東京海洋大学) として開催される予定です。

●2024 年度 MSJ-SI テーマ公募について

2024 年度 MSJ-SI についてテーマ公募を行っております。締め切りは **2022 年 5 月 31 日** です。

MSJ-SI は, 以下の特徴を持ちます。

- 数学会から 500 万円の助成金が提供されます。
- 東アジアの数学会の協力のもとで, 韓国と台湾から限られた人数の大学院生・若手研究者が派遣されます。
- 専門家向けの講演とともに, 大学院生・若手研究者向け, あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行って頂きます。

応募される方は, 締切までに, 研究集会のテーマ, 提案理由, 主要な講演者 (事前承諾不必要) を学術委員長までお送りください。また, 事前の問い合わせも歓迎いたします。

送付先: 日本数学会学術委員会委員長
塩谷 隆

電子メール: [shioya\(at\)math.tohoku.ac.jp](mailto:shioya(at)math.tohoku.ac.jp)
郵便: 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉
6 番 3 号

東北大学大学院理学研究科 数学専攻

詳細については, 数学通信 26 巻 3 号に掲載の公募要領を参照して下さい。

(学術委員長 塩谷隆 記)